

モンゴルにおける家畜原虫病に対する簡易迅速診断キットの開発及び普及

(医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS))

- 本課題は、モンゴル国内で流行するトリパノソーマ病とピロプラズマ病に対する簡易迅速診断キットの上市を目指して実施された。
- 簡易診断法である7種類の酵素抗体法(ELISA)と3種類のイムノクロマト法(ICT)が開発され、2018年3月にモンゴル政府の製造認可を取得し、モンゴル生命科学大学獣医学研究所が製造販売している。さらにモンゴル総合獣医庁による全国獣医診療所への診断キット配布により、同キットはモンゴルの畜産現場において家畜診断用に利用されている。
- モンゴル生命科学大学獣医学研究所は、診断検査等の試験所能力の質が国際水準であることを担保するため、2015年12月にISO17025認定を取得した。
- 2018年6月には、モンゴルで新たに施行された家畜健康法に則り、原虫病に対する4件の対応策ガイドラインが作成され、本プロジェクトの成果が反映された。これらはモンゴルの食糧・農業・軽工業省に採用され、同国で現在も運用されている。

＜参考＞

- 課題名：モンゴルにおける家畜原虫病の疫学調査と社会実装可能な診断法の開発
- 研究期間：平成25年度～平成30年度
- 研究代表者：(日本) 帯広畜産大学 横山直明 教授
(モンゴル)モンゴル生命科学大学 獣医学研究所
Badgar Battsetseg 所長

県や市からの要請を受け、
獣医学研究所で検査方法の
研修を受ける地方獣医師たち

簡易診断キットの
野外評価



当プロジェクトで
開発した簡易迅速
検査キット

